



2017 私大入試 [評論] 出題筆者をチェック！

2月末になり、2017年の主な私大入試も終わりつつあります。そこで、いくつかの私大入試を早速チェックし、今年出題された評論の筆者を並べてみました。

尼ヶ崎彬	清岡卓行	土佐弘之	森政稔
安藤宏	栗原彬	富永茂樹	森山高至
池内了	國分功一郎	中島義道	山本雅男
市倉宏祐	齋藤垂矢	波平恵美子	吉見俊哉
井上健	坂口安吾	西谷修	渡辺靖
今井むつみ	坂口ふみ	橋本治	
大塚英志	阪本俊生	二葉亭四迷	
大屋雄裕	佐藤洋一郎	前田英樹	
加藤淳平	澁澤龍彦	待鳥聡史	
萱野稔人	鈴木理策	松岡慧祐	
河崎吉紀	高階秀爾	松澤和宏	
岸政彦	竹内整一	松田美佐	
木田元、須田朗	千葉学	村上陽一郎	
宜野座菜央見	坪井秀人	森田真生	
木村英樹	鶴見俊輔	森田良行	

ほんの一部の私大からピックアップしただけの一例ではありますが、新しい筆者、定番筆者とも、まんべんなく出題されていることがわかります。赤字の筆者に注目してみました。

今井むつみ氏は、慶應義塾大学環境情報学部教授。認知科学が専門分野です。出題された文章は『学びとは何か』という、2016年3月刊行の岩波新書からの抜粋でした。この他、『ことばと思考』（岩波新書）、『ことばの発達謎を解く』（ちくまプリマー新書）などの著作があります。

岸政彦氏は、龍谷大学教授。社会学者でありながら、2016年に『ビニール傘』で芥川賞にノミネートされました。今後、入試でも名前が見られる機会が増えてくるかもしれません。

森田真生氏は、数学の研究者。独自の活動を続けていますが、小林秀雄賞をとった『数学する身体』（新潮社）が広く知られ、今年の入試もこの本から出題されています。

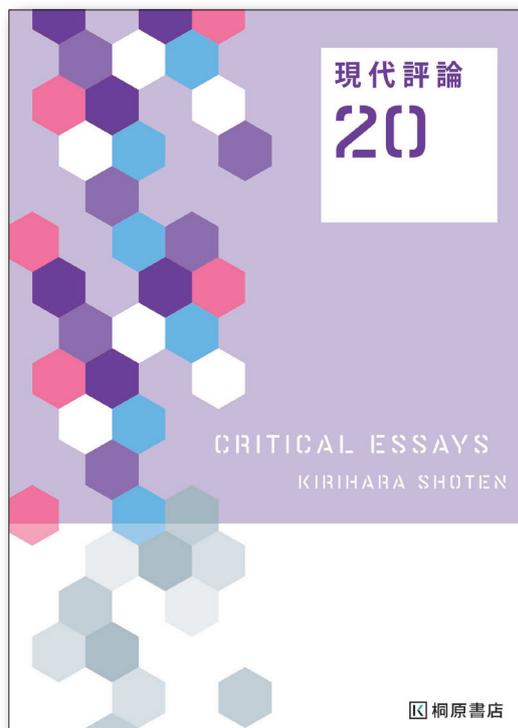
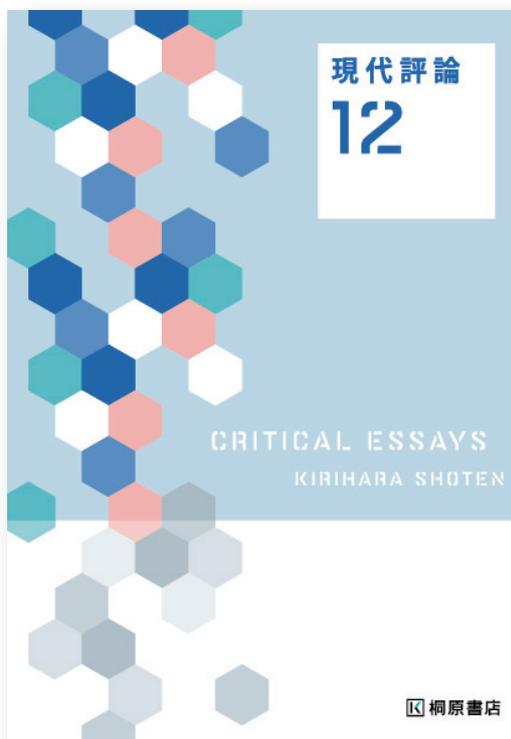
また、坂口安吾「茶番に寄せて」は、早稲田大学政経学部での出題ですが、同じ早稲田大学国際教養学部にて、2010年に出題されていました（採録箇所は完全に同じではなく、設問も違いますが）。同じ大学内でも数年前に出たからもう出ないと安心できるものではなく、むしろこういった定番の文章は、いつどこで複数回出てもおかしくないということがよくわかります。



桐原書店の評論集



2017年5月、現代評論シリーズが完成します！



現代評論 12

好評発売中

建築／言語／「羅生門」論／貨幣 など、さまざまなジャンルの評論文を12本掲載しています。
取り組みやすい2000～3000字の評論を中心に、最長5000字のものも掲載しています。

付属品

評論を読み解くための補助資料、生徒用「読解サポートブック」が付属します。
また、授業や評価を効率よく進めるために「整理ワーク」「評価問題A・B」「指導用資料」「テキストデータ」といったデータを提供します。
※「読解サポートブック」・各データは、学校採用のみの提供です。

現代評論 20

5月刊行予定

新しいテーマを扱った神里達博氏や吉川浩満氏の文章、また定番の鷺田清一氏、河野哲也氏、池内了氏、さらに作田啓一氏の「こころ」についての評論など、充実の20本を掲載。2500～8000字の評論を厳選。